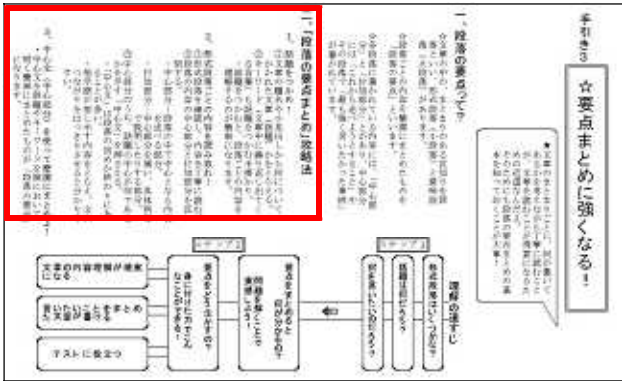


「学習プリント」



「学習の手引き」
赤枠内に要約の手順を示した。

スモールステップによる学習活動に合わせて、ワークシートや学習の手引き、学習プリントを適宜用いた。

ワークシートは学習の流れを目で見えて確認できるよう工夫したため、これまで言語活動に消極的だった生徒でもすぐに先生に聞いて解決しようとするのではなく、自分でまずやってみてから質問したり、自分なりに工夫したりする姿が多く見られるようになった。学習プリントや学習の手引きを提示することで、生徒は常にそれを手元に置いて必要なときに利用することができた。学習プリント「要点をとらえる」を家庭学習用の予習プリントとして利用したが、授業の前にを要約の手順を確認することができたため、生徒の活動への苦手意識を和らげるのに有効であった。また、授業中の活動にも抵抗なく取り組むことができていた。意見文を書く際に、情報収集の仕方や情報の吟味の仕方、文章の構成に関する手引きを、自分で必要に応じて再確認することができていた。



「手引きを活用する生徒の様子」



振り返る場面

〔具体的手立て〕
交流
学習計画表
事後アンケート

書き上げた意見文をお互いに読み合わせ、意見交流を基に相互評価に取り組みさせた。

お互いに読み合い、評価し合うことで、生徒は自分の意見を振り返ることができた。更に、自分の考えを深め、より説得力のある意見文にするために必要なことを自分の言葉でまとめることができていた。

振り返りの欄に、活動の自己評価と反省を記入させた。

最初は漠然とした感想を書いていた生徒が、単元の最後には具体的に身に付けた知識・技能について書くことができるようになった。

「学習計画表」
赤枠内が振り返りの欄。

生徒のコメントより

見通す段階...しっかり意見文について考えることができた。説得力のある意見文のポイントが分かった。

身に付ける段階...文章の構成や論理の展開について分かった。文章の中心部分と付加部分の意味が分かった。

振り返る段階...いろいろな感想を書くことができた。

- た資料を集めることがあまりできなかった。
- ・たくさんの資料を集め、大事なところをまとめることができた。
 - ・資料を調べるのが楽しかった。前にやったので大事な部分を抜き出すことが早くできた。
 - ・私は作文が嫌いだけど、前よりは好きになった。たぶんスラスラ書けたからだと思う。
 - ・自分の言いたいことを全部書けたかは分からないが、構成や表現を考えて書くことができた。
 - ・時間はかかったけど、うまく意見文を書けたのでよかった。
 - ・説得力のある意見文を書くことは難しかったが、自分なりに書くことができた。

振り返る段階の記述（抜粋）

- ・他の人の意見文の良いところをどんどん自分の意見文に取り入れて、自分の力を伸ばしたい。
- ・みんなの意見文はちゃんと分かりやすく書けていた。
- ・他の人の意見文を読んで、もっと自分の意見文も工夫しなければいけないと思った。次に書く時があれば、友達のアドバイスを生かして書きたい。
- ・班の人の意見文のよいところやアドバイスを見付けられたのでよかった。そして、自分の意見文に生かしたいところもいっぱい見付けられた。

自分の意見文（応募作文）のテーマを設定し、構成や表現を工夫して相手に分かりやすい意見文を書く活動を行った。

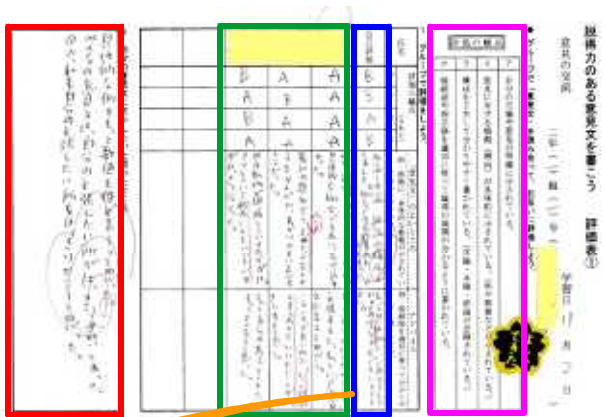
生徒は、説得力のある意見文を書くためにはどんなことに気を付けて書けばよいのか意識し書くことができていた。そのことによって、身に付けるべき知識・技能がどんなものなのか意識するようになったことがうかがわれる。

グループでお互いの意見文を読み合い、よいところとアドバイスを見付けて相互評価を行った。

説得力のある意見文のポイントを評価の観点として友達の意見文を読み、評価することで、全員が自分の意見文の改善点を見付けることができており、有

（２）相互評価後の感想より（抜粋）

の評価の観点を利用して、まず自分の意見文についての自己評価を に記入させた。その後、相互評価を行い、そこでの気づきを自分の意見文にいかすために にまとめている。での記述は よりも具体的になっており、考えの深まりがうかがえる。



- ...評価の観点
 - ア 自分の立場や意見が明確に示されている。
 - イ 意見に対する根拠が具体的に示されている。
 - ウ 構成を工夫して分かりやすく書かれている。
 - エ 接続語や指示語を適切に使って論理の展開が分かるように書かれている。
- ...自己評価 ...友達の商品を評価
- ...相互評価後の感想（生かしたいと思った点）

〔生徒の気づきの変容〕

無駄が多く、話がずれているところがあった。始まりがはっきりせず、意見の終わりが分からない。

もっと具体的な書き方をすればよかった。

構成をもっとはっきりさせて、自分の意見とバランスよく事実を入れたい。根拠をもっとはっきりさせようと思う。

具体的な例をもっと数値を使って表そうと思った。みんなの意見文は、自分の主張したいところがはっきり書いてあったので、私も自分の主張をもっと分かりやすく書こうと思った。

(3) 生徒作品より

序論・本論・結論の形で構成を工夫して分かりやすく書かれている。(結論部分は省略)

ワークシート⑥ 説得力のある意見文を書こう

学習日 2024年()月()日

題：地球温暖化

最近、よく「地球温暖化」という言葉を耳にします。では、「地球温暖化」とはどのような原因で起きているのか、また、それを防げるのでしょうか。

まず、原因ですが、それは大きなもので、二酸化炭素の増大です。近年、人の文化が発達し、中国などの工場によって、二酸化炭素の排出量が激増し、大気中の二酸化炭素の濃度が急激に増加しています。

次に、このような温暖化が進めば、現在、起きていることとして、南北の水が溶けて、海面が上昇して、海面上昇が起きています。他にも、気温が上昇して、干ばつや豪雨が増え、自然災害が増えています。

では、どうすれば温暖化を防げるのでしょうか。それは、二酸化炭素の排出量を減らすことです。例えば、省エネ家電を使う、マイカーを減らす、公共交通機関を利用するなどです。

接続語を適切に使うことで論理の展開が分かるように書かれています。ここでは、地球温暖化の原因、影響、解決法という展開で書かれていて分かりやすい。

本論

序論

意見に対する根拠(理由)が具体的に示されている。

この単元に入る前の自己評価では、構成や表現を工夫をして書くという意識がなかったと書いていた生徒だが、この意見文では、評価の観点ア～エの全ての項目について意識して書くことができている。説得力のある意見文の書き方のポイントとしてまとめた項目(評価の観点として提示したものと同一)を意識して書くことによって、全体のまとまりもよく分かりやすい文章になっている。相互評価でも高く評価され、本人の自己評価にも、自分の意見を分かりやすく伝えることができ達成感を感じていることが記述されている。また、評価の観点が分かっているので、自分で推敲することができている。

3 指導者の考察

- ・単元を通じて、生徒はどの時間も一生懸命に活動に取り組んでいた。学習計画表を活用することで、何のためにいつどんな活動をするのか見通しをもって学習することができていた。
- ・事前に予習課題として配布した学習プリント「要点をまとめよう」の学習の手引きや説明的な文章の構成を示した手引き等を、生徒は再確認のためによく見ており、生徒の学習を支えるものとして効果的だったと思う。
- ・複数の意見文を比較して、説得力のある意見文の書き方のポイントを考えることや「考えるイロカ」の要約をする活動がモデル学習となって、意見文を書く際の生徒の活動はスムーズだった。
- ・教材文が段落の役割や構成がはっきりと分けられない部分のあるものだったので、読み取りには、他の説明的な文章等でモデル学習を行うなど、あと一手間必要だと感じた。
- ・教材文の読み取りに時間が掛かってしまったので、書くことの授業であることを意識して活動内容を更に精選したり、ワークシートを工夫したりする必要があると思う。

〔生徒用手引きの活用〕
これらの手引きを意見文を書く際に参考にさせた。

〔生徒用 学習の手引き5〕

手引き5 ◆情報を収集しよう！

何のためにするの？

- 学習や生活の中で生まれた課題や疑問を解決するため
- 自分の考えや意見をより確かなものとする際よりどころとするため

正確さや信頼性が大切

どうやって？

【図書館で調べる】

- 1 書架の活用
 - ・書架の上の表示（日本十進分類法）を参照し探す
- 2 蔵書検索の活用
 - ・書名目録、著者目録、件名目録を参照し探す（コンピュータでも可能）
- 3 リファレンスコーナー（相談窓口）の活用
 - ・あるテーマについてどんな資料があるか知りたいときには、積極的に相談窓口の係の人に質問をして探す

【アンケートで調べる】

※ 多くの人の考えを聞き、集計するもので、全体の傾向をとらえるのに有効

- アンケート対象の決定
 - ・目的に応じて対象を決める（年齢・性別など）
- 質問の仕方
 - ・選 択 式→傾向を知りたいとき
 - ・自由記述式→意見や考えを知りたいとき
- 実施上の注意
 - ・記名か無記名かによって結果が変化
 - ・協力者のプライバシーを守る
 - ・日時・対象・方法・調査方法や回答数などをあらかじめ決める

課 題

【インターネットで調べる】

○手 順

- ① 調べたい内容をキーワード化する
キーワード→調べたい情報の平仮名かかなとなる言葉
- ② 条件を絞り込む
関連して調べたいキーワードを増やしていく

【インターネット・取材】

○手 順

- ① 調べたいことの確認・動機先の決定
「どこで」「だれに」「何を」
- ② 電話やメールなどの予約
内容の確認と日程の調整
- ③ インタビュー計画の作成
質問の整理、役割分担
- ④ インタビューの実施
マナー
- ⑤ まとめ・お礼
レポート用にまとめるお礼状を書く

気を付けよう！

- ★ 調べたい内容について事前に整理しておくことが大切です。
- ★ かたよった情報ではなく、できるだけ多様な情報を収集するように心がけましょう。

〔生徒用 学習の手引き6〕

手引き6 ◆集めた情報を吟味しよう！

何のためにするの？

- 集めたたくさん情報の中から、自分にとって本当に必要な情報や目的や条件に合った情報を選び出すため
- 自分の意見や考えの根拠を補うものとして最も適した情報を探し出すため

その情報は本当に必要？ 目的や条件に合っている？

どうやって？

① 集めた情報が目的や条件に合っているかを判断する。

② その情報の信頼性や客観性について判断する。
(場合によっては、同じことを述べている複数の情報を組み比べてみることも有効です)

③ 集めた情報の中から、目的や条件に最も合っている部分を抜き出す。

【判断のポイント】

- ① 情報の信頼度はどうか。
情報の出典先の信頼性
根拠となっているデータの信頼性
- ② 情報の新鮮さはどうか。
根拠となるデータの新鮮さ
- ③ 情報発信者の特別な意図があったり、かたよった考えに、なっていないか。
- ④ 分かりやすい表現内容になっているか。

抜き出す部分は適切か。
抜き出す分量は適切か。

気を付けよう！

★ 情報はできるだけたくさん集め、吟味した上で本当に必要なものにしぼり込もう！

「情報を収集しよう！」

「集めた情報を吟味しよう！」

〔生徒用 学習の手引き7〕

★ 説明的な文章に強くなろう！

一、説明的な文章の特徴

- 1 構成・展開
 - 事実や意見・主張などを明確に伝えることを目的としているので、論理筋の筋道のはっきりした流れになっている。
- 2 文 脈
 - 指示語や接続語が多く用いられる。
 - 【指示語】…ものを指し示す言葉。(こ、その、あ、この言葉)
 - 【接続語】…語と語、文と文などをつなぎ、前後がどのような関係で結び付いているかを示す言葉。
- 3 表 現
 - 説明文では専門用語が使われることが多く、図解やグラフ等も資料として用いられる場合が多い。
 - ※ 事実を述べる場合と意見や主張を述べる場合の文末表現の違いにも気を付けよう。

二、説明的な文章の構成

- 1 基本要素
 - 次の三つからなる。
 - 前書き(序論) ……話題や問題を提示する。
 - 中心(本論) ……話題・問題についての説明・解説。
 - 結び(結論) ……説明や考えのまとめ・しめくくり。

2 構成の型

- 結論の位置によって、次のような型に分けられる。

基本型

序 論

↓

本 論

↓

結 論

成語型

結 論

↓

本 論

↓

結 論

逆序型

結 論

↓

本 論

↓

結 論

挿入型

結 論

↓

本 論

↓

結 論

④ 要旨をつかむ ← ③ 段落の構成をつかむ ← ② 段落の要点をつかむ ← ① 全体の流れをつかむ

説明的な文章の理解の筋道

説明的な文章とは、事実や筆者の主張を論理的に述べた文章です。

◆ 「説明文」…ある事実・現象・状態などについて、客観的な立場で筋道立てて説明した文章

◆ 「論説文」…ある事柄や意見などについて、筆者の主張・意見を筋道立てて述べた文章

説明文、論説文の仲間には、記録文、報告文、解説文、評論などがあります。

「説明的な文章に強くなろう！」